



# サフラン便り

第42号 21年12月15日発行

発行:佐賀県薬剤師会女性薬部会  
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1  
TEL:0952-23-8931  
FAX:0952-23-8941  
<http://www.sagayaku.or.jp/josei/inde>

## <九州山口薬学大会女性薬剤師協議会 発表報告>

日時:11月23日(祝)12:50~14:30

場所:ピーコンプラザ 1F 中会議室

発表内容

- ①地域に貢献できる薬剤師をめざして (社) 沖縄県薬剤師会 村田美智子  
鹿児島県薬剤師会女性薬剤師部会が目指すもの  
~組織の一員として 県民の健康を~ (社) 鹿児島県薬剤師会 二木成美
- ③県薬剤師会の中で女性会員が目指すもの、求められるもの (社) 宮崎県薬剤師会 堀 勇子
- ④熊本県薬剤師会女性薬剤師部会が目指すもの  
~みんなのためにできること~ (社) 熊本県薬剤師会 菅原奈緒子
- ⑤長崎県薬剤師会における女性薬剤師部会の再興について考える  
~長崎女性薬剤師会の活動からみえてきたもの~ (社) 長崎女性薬剤師会 鈴木郁代
- ⑥佐賀県女性薬剤師会の事業を検証する (社) 佐賀県薬剤師会 鶴田恵子
- ⑦シームレスな環境を目指して (社) 福岡県薬剤師会 安東恵津子  
県薬剤師会の中で女性会員が目指すもの、求められるもの  
~個として 団体として~ (社) 山口県薬剤師会 杉山和子
- ⑨大分県薬剤師会の中で女性薬剤師がめざすもの (社) 大分県薬剤師会 神田素子



当県発表者は多久小城支部の若い鶴田恵子先生にお願いしました。これから薬剤師として仕事をしていく上で、直面するであろう女性ならではの問題を踏まえて、その解決支援として女性薬剤師部会の事業を紹介しました。九山大会初のキッズルーム開設からアバンセ民間調査研究や移動セミナー等いろんな活動を紹介することができて良かったと思います。発表後、会場から男性薬剤師の方ではなかったかと思いますが、大きな拍手をいただきました。

女性薬剤師部会のない福岡県、宮崎県の発表もあり、一同に会したことは有意義であったと思います。九州各県取り組んでいる方法内容は多少の違いはありましたが、女性支援という立場での事業内容でした。地元新聞にコラムを連載したり、インターネット会議を実現していたりと参考にできることも多々ありました。協議の中で、女性が抱える問題は大きく存在することを改めて感じましたし、それを男性も自分たちの問題として捉えていただきたいと思いました。男女共同参画の意識を広めることそして広く国民に支持される薬剤師を目指してこれからの活動をしたいと考えながら帰路につきました。(宮地)



## 女性薬剤師交流会報告

\* 武雄会場地区:11月7日(土)15時~17時 宇宙科学館カフェスタにて 武雄支部の支援で開催。子供さんの参加もあり、転勤で初めてきた佐賀県での就業への不安や子育て中の研修やネットワークの取り方の問題などの話ができました。

\* 佐賀会場:11月14日(土)18時~20時 グランデはがくれにて

女性薬剤師である方どなたでも参加していただける会として、開局、病院薬、製薬卸の職種を問わず、就業未就業の枠を超えて薬剤師というつながりのみでの集まりとしました。お互い「先生」はやめて「さん」と呼び合ひましようというご提案をいただき、それぞれのテーブルでいろんなお話が弾みました。薬剤師会への提案や女性薬剤師の結束をしていきたい等の話も数多く出てきました。島田さんの軽妙な司会で和やかなうちに終わりました。

## AFPS(Asian Federation for Pharmaceutical Sciences 2009) 報告

於：九州大学医学部 百年講堂 開催日時：10月15日(木)～18日(日)  
昨年 FAPA に参加したときにこの AFPS の参加呼びかけをしてあったので知りました。  
第1回目の大会で、今回、熊本大学が主催したアジア薬化学大会です。ポスター発表では  
ナノテクノロジー分野が盛んで、リポソームやキトサンを使用して、薬物を腫瘍細胞  
又は核内移行をめざした研究発表や Si-RNA を利用しての遺伝子選択、転移操作などでした。また杉山  
先生(東京大学院)のプレナリーレクチャーは、特異的にセリバスタチンとシクロスポリンの併用でセ  
リバスタチンの濃度が著しく上昇する人がいるが、肝臓における有機アニオンの取り込みに関与するト  
ランスポーター(OATP 1B1)のSNPs(一塩基多形)が原因である。という内容でした。すでにいく  
つかのSNPsが同定されているのでテーラーメイド治療も遠くない日に訪れると思いました。



国際学会は、最新的话题をアンテナとしてキャッチして今後の動向を知ると共に、日本でもなかなか  
お目にかかることが難しい中枢の先生方を知り、お話するチャンスに恵まれることなど、得る所が多く  
あります。若い方達が是非、機会を逃さずに参加されて、自分をのばして頂くといいと思います。次回  
は2011 ソウルで開催されますので参加されてみてはいかがでしょうか? 鳥栖・三養支部 徳淵昭代

### <佐賀県女性薬剤師会の歴史>

### 会史投稿文より(その4)

元佐賀県薬剤師会 副会長 宮地信子

選挙の時には、女性薬なしでは考えられないようになった。女性薬の組織力も大きな力になったと考えられるし、特  
に、山中貞子副会長の美声はいつも絶大な力を発揮していた。

県内の女性薬として佐賀市に対して唐津地区が大きな活動をしている。馬場ヨネ、前谷ヨシ、坂本キクエ、吉富  
志那子等の方々が創立当初から活躍している。ある夏など貸切バスで子供連れで海水浴を兼ねて唐津で総会をし、  
楽しい一日を過ごした。伊万里地区の南部誠子、北野弥生、東部地区では東島信子、陣内美知子の方々が創立  
当時から頑張っている。また、県レベルでは薬務課長を囲んで新年会も度々開いた。当時は官公立関係に女性薬剤  
師はなかなか雇用されなかったので、その都度一生懸命お願いしていた次第である。今日では、衛生研究所を始め、  
公害センター、血液センター、県立病院、薬務課、保健所とそれぞれの場所で女性薬剤師が活躍している。また、そ  
れぞれの地域での婦人会との交流もできる限り行っている。例えば「くすり与健康について」「美容と健康について」「チク  
ロの問題」「基山地区の流行性肝炎と水の問題について」等その時々々の社会的関心を集めたもの等を含めて婦人会  
や保健婦会に出向いてお話ししたりしている。また消費生活に関係ある洗剤の問題が上がった時、女性薬剤師研修会  
で婦人会会長幹事をお招きしその機会に医薬分業問題についても話をしている。

### <ばぶばぶフェスタ参加報告>

日時：11月8日(日)

協力スタッフ：北島悦子、江口しずか、宇野由紀子、楠田紗和子、宮地和子

内容：お薬相談・手洗い指導



インフルエンザに関心が高く、手洗いができているかを目で確かめるグリッターバッグは好評でした。手洗いの重要さや  
リレンザを始めとする正しい薬の服用方法について説明をしました。おくすり相談では、漫然と薬を飲んでいて良いかなど  
の薬に対する不安の声も聞かれました。

### <ちょっと一言>

今年もあと半月ほどになりました。「師走」と聞くと何となく忙しくなり、薬局にみえる患者様もお疲  
れの方々が多くなりました。「師」のつく者はインフルエンザに奔走される日々ですが、特に内科小児科  
の医師は休息をとる時間もなく、昼食も立ったまま摂っている状況と聞きました。また今年初めて開催  
した女性薬剤師の交流会では病院薬剤師と薬局薬剤師の各々に期待されている役割の違いを学ぶことも  
でき、これからの生涯学習のやり方にも反映できるかもしれません。保険薬剤師は調剤から保険請求業  
務までの責任を負っているなのでその算定方法の解釈を日々の業務に生かしていかななくてはと思っていま  
す。「師」にペテンが付かないように。(島田)